

平成27年度

第7回大分県教育委員会 議事録

日 時 平成27年6月23日 (火)

開会13時35分 閉会13時54分

場 所 教育委員室

平成 27 年度  
第 7 回大分県教育委員会

**【議 事】**

(1) 報 告

- ① 県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について
- ② 大分県高校生ものづくりコンテストについて

(2) その他

## 【内 容】

### 1 出席者

委 員	教育長	工 藤 利 明
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	松 田 順 子
	委員	首 藤 照 美
	委員	高 橋 幹 雄
	欠席委員	林 浩 昭
事務局	教育次長	宮 迫 敏 郎
	教育次長	落 合 弘
	教育次長	大 城 久 武
	参事監兼教育財務課長	岡 田 雄
	参事監兼高校教育課長	岩 武 茂 代
	教育改革・企画課長	能 見 駿一郎
	教育人事課長	藤 本 哲 弘
	福利課長	姫 野 浩 之
	義務教育課長	後 藤 榮 一
	生徒指導推進室長	江 藤 義
	特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	社会教育課長	曾根崎 靖
	人権・同和教育課長	甲 斐 順 治
	文化課長	野 尻 明 敬
	体育保健課長	蓑 田 智 通
	教育改革・企画課主幹	伊 藤 功 二
	教育改革・企画課主査	石 丸 一 輝

### 2 傍聴人

3 名

## 開会・点呼

(工藤教育長)

それでは、委員の出席確認をいたします。  
本日は、林委員が欠席です。

ただいまから平成27年度 第7回教育委員会会議を開きます。

## 署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名委員でございますが、高橋委員にお願いしたいと思っております。

## 会期の決定

(工藤教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりであります。  
会議の終了は13時55分を予定しています。  
よろしく申し上げます。

(工藤教育長)

議事に入る前に、私から一言申し上げます。  
去る6月14日をもって、教員採用試験等に係る贈収賄事件から丸7年が経過しました。  
私たち教育委員会は、この事件の重大さを真摯に受け止め、二度とこのような事件を起こさないよう教育改革を実施し、権限と責任が明確で透明性の高い教育行政システムの確立を図るとともに、「芯の通った学校組織」の取組などに全力を挙げてまいりました。  
こうした中、平成26年度の全国学力・学習状況調査において、小学校で九州トップレベルを達成するなど一定の成果が見られつつあるものの、教育本来の使命を十全に果たし、大分県のすべての子どもたちに未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせていく上で改革はいまだ途上にあります。

折しも新たな教育委員会制度に移行し、責任体制が明確化されるとともに、審議の活性化も求められています。本県教育に対する県民の信頼を失墜させたこの事件の教訓を将来にわたって決して風化させることのないよう、今一度原点に立ち返って教育改革の流れを継承し、さらなる高みを目指して不断の努力を継続することで「教育県大分」の創造を目指してまいります。

平成27年6月23日 大分県教育委員会教育長 工藤利明

## 議 事

(工藤教育長)

それでは、議事に入ります。

### 【報 告】

#### ①県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について

(工藤教育長)

はじめに、報告第1号「県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について」岡田参事監兼教育財務課長から報告いたします。

(岡田参事監兼教育財務課長)

資料1ページをご覧ください。公立学校施設の耐震改修状況につきましては、文部科学省が毎年4月1日現在で調査を行っており、平成27年4月1日現在の全国の集計結果が今月初めに公表されました。

はじめに、「I. 校舎等の耐震化」についてですが、県内小中学校の構造体の耐震化率は97.5%となっており、全国平均95.6%を今回初めて上回ることができました。前年度からの伸び率は6.1ポイント増加で全国7位となっています。昨年度の全国3位に引き続き、全国的に高い伸び率で進んでいます。

「県内の調査結果の概要」の上から3つ目、小中学校及び幼稚園につきまして、各市町村では、再編関係を除きまして今年度末までに耐震化を完了する方向で工事を行っていると聞いています。県立学校分につきましては、一番下の表に高等学校では99.3%と記載していますが、今年度末に閉校予定の佐伯豊南高校3棟を除きますと100%となって

います。県立学校に関しましては、再編関係を除くと、すでに平成23年度末で耐震化は100%終了しています。

次に2ページをご覧ください。非構造部材の耐震対策につきましては、先の東日本大震災におきまして、屋内運動場、体育館、柔剣道場等の天井材や照明器具等の落下により被害が発生したことから、早急な対策が必要ということで、平成23年度から追加して調査が始まりました。

中段の「大分県の公立学校施設の状況」の表に記載のとおり、県内の小中学校につきましては、撤去等の対策が必要な吊り天井を有する建物が32棟あります。また、吊り天井はないものの、照明器具やバスケットゴール等の落下防止対策が必要な建物につきましては、334棟残っているという状況です。

県立学校につきましては、下段の「大分県立学校施設の状況」の表に記載のとおり、25年度、26年度の2ヵ年で集中的に対策を実施した結果、再編で閉校予定の建物を除き、昨年度末に対策を完了させたところです。なお、この非構造部材の耐震対策につきましては、国の技術基準が平成25年8月に出されたということもあり、全国的にも対策が遅れているという状況です。しかしながら、県教育委員会といたしましては、市町村に対して予算措置の状況を確認するなど、早期の対策の完了に向けて引き続き助言してまいりたいと考えています。

以上でございます。

(工藤教育長)

何かご質問・ご意見等はありませんか。

(岩崎委員)

校舎等の耐震化が未了の学校や非構造部材の耐震対策で落下防止対策が必要な吊り天井を有する学校に対して、どこの部分が危ないかという情報を説明できていてリスク管理体制がきちんと整っているかどうか、また、そこを確認をしているかどうか、教えてください。

(岡田参事監兼教育財務課長)

県立学校の場合で申し上げますと、事務職員の方に常日頃から目視での点検をお願いをしています。また、12条点検というものがあります。これは技術者による点検を行いなさいという規定ですが、これを3年に1度のサイクルで行っています。市町村立学校につきましても、通常の施設管理としてしっかりと点検等を進めていただくようお願いしてまいりたいと思います。

(岩崎委員)

校舎の耐震化が未了の場合は、施設がどの程度の危険性を持っている

かということのチェックは当然必要ですが、それと同時に、いざ地震等が起こった時に、その建物が倒壊する恐れがあることを前提とした対応を学校現場にとっていただくことが大事だと思います。そのためには、現場の教職員がその情報を持っていることが必要です。県教育委員会としては、このような情報を学校現場に伝えて、耐震工事が未了ということを経験した対応ができるようにしておく必要があります。これはリスク管理をきちんとするという対応のひとつですが、市町村教育委員会を通じて、このような情報伝達をきちんとするように要請していただきたいと思います。万が一何かが起こった時の対応として、このことが必要だと思いますし、県教育委員会としては、それを指導する義務があるのではないかと思いますので、その点をお願いしたいと思います。

## ②大分県高校生ものづくりコンテストについて

(工藤教育長)

次に、報告第2号「大分県高校生ものづくりコンテストについて」岩武参事監兼高校教育課長から報告いたします。

(岩武参事監兼高校教育課長)

平成27年度大分県高校生ものづくりコンテストについて、報告いたします。このコンテストは、技術者のコンテストの最高峰である技能五輪の高校生版と言われており、ものづくりの喜びやすばらしさを知り、技術・技能の向上を図り、将来、県内産業界の発展に貢献することはもとより、グローバル社会においても活躍できる工業技術者の育成を図ることを目的として行っているものです。

去る6月12日(金)に大分工業高等学校において、9校が参加して実施されました。実施された競技種目は、「旋盤作業」、「電気工事」、「木材加工」、「測量」、「電子回路組立」、「化学分析」の6部門です。審査員につきましては、大学や行政関係者、産業界の専門家17名の方々にご協力をいただきました。大会結果を各部門ごとに表にまとめています。各部門の最優秀に輝いた生徒は、7月11日、12日に宮崎県で開催される九州大会に大分県代表として出場いたします。

以上でございます。

(工藤教育長)

何かご質問・ご意見等はありませんか。

(岩崎委員)

職業系高校において、技術・技能を競い合うことはとても重要なことだと思いますし、学校外の専門家によるコンテストは非常に大事なこと

だと思います。九州大会でも、ぜひ頑張ってもらいたいと思いますが、過去の実績から、大分県としてどのくらいを目指していますか。

(岩武参事監兼高校教育課長)

過去の実績についてですが、昨年度、鶴崎工業高校が全国大会において、電子回路組立部門で最優秀を獲得しています。鶴崎工業高校は、一昨年度の全国大会でも2位の実績を残していますので、電子回路組立部門では全国優勝を目指していきたいと考えています。また、他の部門につきましても、生徒達は頑張っていますので、少しでも上位に食い込んでいきたいと考えています。

(松田委員)

頑張ってもらって技能を向上させて、大分県に貢献する人材を育ててほしいと思います。優秀な成績を残した生徒はどのような企業に就職しているのですか。スポーツだと優れた選手を獲得する企業がありますが、このようなコンテストで優れた成績を残した生徒に対して、就職してもらいたい企業等は参加していないのですか。

(岩武参事監兼高校教育課長)

コンテストで活躍した生徒は、県内外の大手企業に就職しています。例えば昨年度は、住友化学や日産自動車、地元では、臼杵技研や日田市役所、九州機械保線などに就職しています。一昨年度は、新日鐵住金大分製鉄所や共同火力、キヤノン本社などに就職しています。

(高橋委員)

工業高校から大学に進学する生徒はいるのですか。

(岩武参事監兼高校教育課長)

工業系の高校から大学に進学する生徒は毎年います。例えば、大分大学工学部や佐賀大学工学部などに進学しています。このような実績を活かして推薦入試で国立大学に進学しています。

(高橋委員)

県外に進学しても、ぜひ大分に帰ってきてほしいと思います。

(工藤教育長)

九州大会での活躍を期待しています。

(工藤教育長)

それでは、最後にその他、何かございませんか。



(松田委員)

スポーツの大会でいい成績が出ていると聞いていますので、報告をしていただきたいと思います。

(蓑田体育保健課長)

結果が出そろい次第、報告いたします。

(工藤教育長)

他に、何かございますか。

それでは、これで平成27年度第7回教育委員会会議を閉会します。

お疲れ様でした。

# 平成27年度第7回大分県教育委員会会議次第

日時 平成27年6月23日(火)

13:35~13:55

場所 教育委員室

1 開 会

2 署名委員の指名

3 議 題

(1) 報 告

①県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について

②大分県高校生ものづくりコンテストについて

(2) その他

4 閉 会

# 県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について

(平成27年4月1日現在)

## I. 校舎等の耐震化

### 〈 県内の調査結果の概要 〉

- ・小中学校の構造体の耐震化率は97.5%(17位)となり、全国平均95.6%を初めて上回った。  
 100% ⑳ 4市町村 ⇒ ㉑ 9市町村  
 全国平均以上(100%未満) ⑳ 4市 ⇒ ㉑ 4市  
 全国平均未満 ⑳ 10市町 ⇒ ㉑ 5市  
 また、耐震化率の伸び率は+6.1ポイントで、**全国第7位の伸び率**であった。
- ・幼稚園の構造体の耐震化率は94.3%(14位)となり、全国平均86.7%を昨年度同様上回っている。
- ・耐震性がない小中学校29棟及び幼稚園5棟については、再編関係を除き平成27年度末を目途に耐震化を完了する予定である。
- ・高等学校の構造体の耐震化率は98.1%(12位)で、全国平均93.7%を上回っている。うち県立高等学校の耐震化は99.3%であるが、再編関係を除けば**実質100%(平成23年度未完了)**である。
- ・特別支援学校の構造体の耐震化率は100%(1位)で、全国平均98.1%を上回っている(平成23年度未完了)。

中津市、日田市、豊後高田市、豊後大野市、国東市、姫島村、日出町、九重町、玖珠町

※調査対象建物 …… 2階建て又は延べ床面積200㎡超の非木造施設

$$\text{※耐震診断実施率} = \frac{\text{昭和56年以前建築の棟数のうち耐震診断実施済棟数}}{\text{昭和56年以前建築の棟数}} \times 100$$

※今回から耐力度調査、優先度調査、第一次診断のみを実施している棟は、未実施棟数に計上(第二次診断等を行っているものを実施率とした。)

$$\text{※耐震化率} = \frac{\text{昭和57年以降建築の棟数} + \text{耐震化済の昭和56年以前建築の棟数}}{\text{昭和57年以降建築の棟数} + \text{昭和56年以前建築の棟数}} \times 100$$

### ○大分県の公立学校施設の状況

		H26.4.1現在		H27.4.1現在	伸びの状況
耐震化率	小中学校 (全国平均)	91.4%(26位) (92.5%)	➡	97.5%(17位) (95.6%)	+6.1(↑9位) (+3.1)
	幼稚園 (全国平均)	90.9%(16位) (83.6%)		94.3%(14位) (86.7%)	+3.4(↑2位) (+3.1)
	高等学校 (全国平均)	95.1%(16位) (90.0%)		98.1%(12位) (93.7%)	+3.0(↑4位) (+3.7)
	特別支援学校 (全国平均)	100.0%(1位) (96.5%)		100.0%(1位) (98.1%)	0(同) (+1.6)

※市町村別(小中学校、幼稚園)は、別紙参照

※小中学校には県立豊府中学校、高等学校には別府市立別府商業高等学校を含む。

### ○大分県立学校施設の状況(上記のうち県立学校分のみ再掲)

		H26.4.1現在		H27.4.1現在	伸びの状況
耐震化率	中学校	100.0%	➡	100.0%	0
	高等学校	96.2%		99.3%	+3.1
	特別支援学校	100.0%		100.0%	0
	計	96.8%		99.4%	+2.6

佐伯豊南高校3棟(H27年度未閉校)を除くと100%

## II. 非構造部材の耐震対策

(注)非構造部材：建物の構造体以外の天井材・照明器具・窓ガラス・外装材・内装材・設備機器・家具等

### 〈 県内の調査結果の概要 〉

- ・小中学校の屋内運動場等で落下防止対策が必要な吊り天井を有しているのは、別府市、日田市、佐伯市、臼杵市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、由布市、九重町の9市町で、計32棟ある。
- ・また、高等学校では1棟（県立学校）あり、特別支援学校にはない。  
県立学校については、25年度から吊り天井の撤去等の対策を重点的に進めたことから再編関係を除き、26年度末で対策を完了させた。

### 1. 屋内運動場の吊り天井等の落下防止対策

※調査内容：調査対象は屋内運動場等（屋内体育館・武道場・講堂・屋内プール）のうち、高さが6メートルを超える天井または、水平投影面積が200平方メートルを超える天井を有するもの。

○大分県の公立学校施設の状況

(単位：棟数)

	全棟数	吊り天井を有する棟数 ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井			吊り天井を有していない棟数(H26年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)		
		吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)		照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	
小中学校	442 (33,392)	32 (5,256)	0 (407)	32 (4,849)	410 (28,136)	76 (12,270)	334 (15,866)
幼稚園	0 (158)	0 (30)	0 (2)	0 (28)	0 (128)	0 (59)	0 (69)
高等学校	138 (8,584)	1 (1,578)	0 (85)	1 (1,493)	137 (7,006)	130 (4,595)	7 (2,411)
特別支援学校	20 (1,120)	0 (165)	0 (19)	0 (146)	20 (955)	20 (610)	0 (345)
計	600 (43,254)	33 (7,029)	0 (513)	33 (6,516)	567 (36,225)	226 (17,534)	341 (18,691)

※( )は都道府県合計

○大分県立学校施設の状況（上記のうち県立学校分のみ再掲）

(単位：棟数)

	全棟数	吊り天井を有する棟数 ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井			吊り天井を有していない棟数(H26年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)		
		吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)		照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	
中学校	1	0	0	0	1	1	0
高等学校	135	1	0	1	134	130	4
特別支援学校	20	0	0	0	20	20	0
計	156	1	0	1	155	151	4

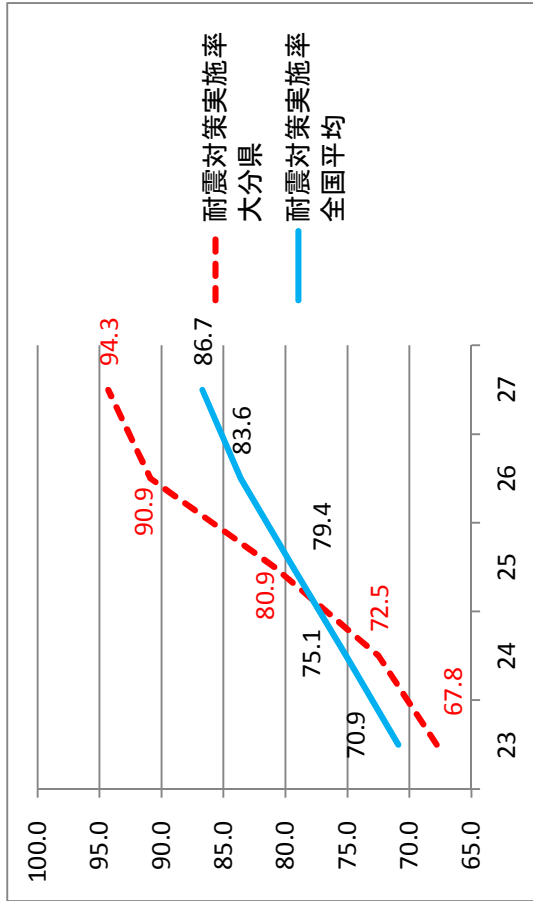
※県立学校は、再編関係を除き、平成26年度で対策を完了。

別府羽室台高校1棟(H28年度末閉校)

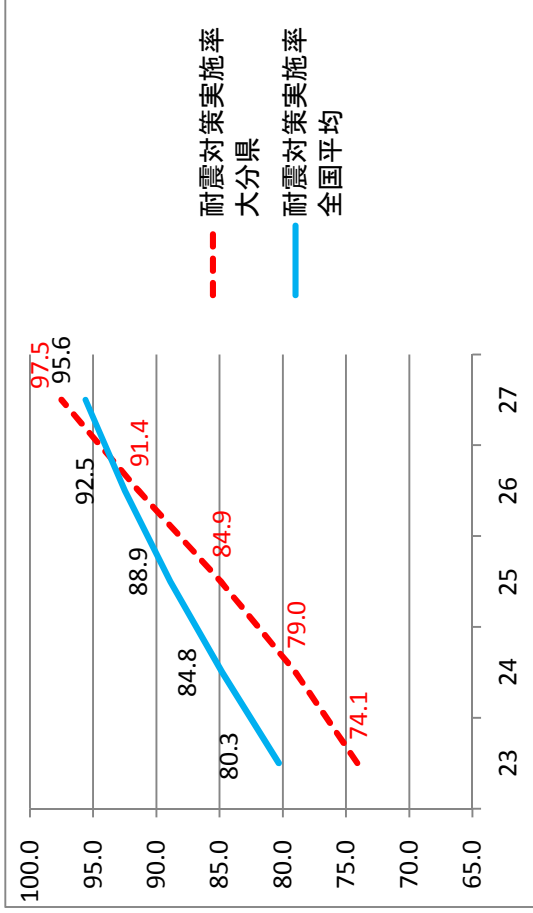
別府羽室台高校2棟(H28年度末閉校)、  
佐伯豊南高校2棟(H27年度末閉校)

耐震改修状況調査結果(4月1日現在)の推移[H23~H27]

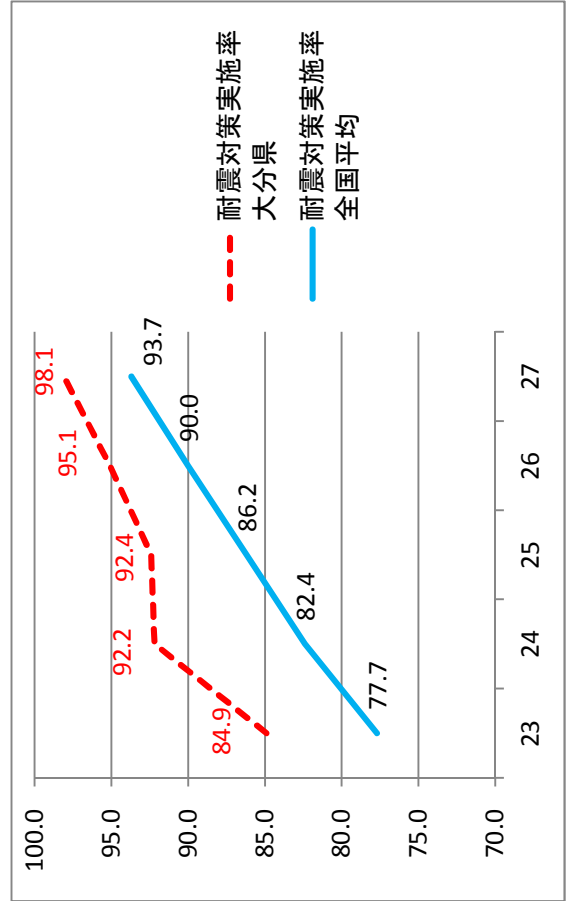
幼稚園



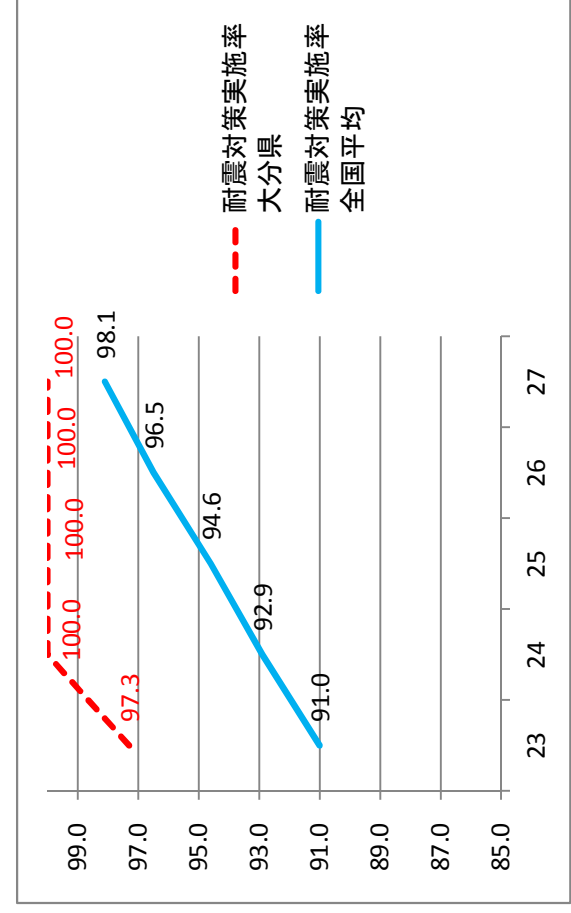
小中学校



高等学校



特別支援学校



# 平成27年度 大分県高校生ものづくりコンテスト

- 目的 ものづくりの技術及び技能を向上させ、将来、産業界で実践的技術者として活躍できる人材の育成を図る
- 日時 平成27年6月12日(金) 9:35～16:20
- 会場 大分工業高校
- 対象 工業を学ぶ高校生(9校) 国東、大分工業、鶴崎工業、津久見、情報科学、佐伯鶴岡・新佐伯豊南、日田林工、中津東、宇佐産業科学

- 参加生徒数 127名
- 競技種目 (6部門)

- ・旋盤作業(6名)
- ・木材加工(6名)
- ・電子回路組立(10名)
- ・電気工事(10名)
- ・測量(24名)
- ・化学分析(11名)

## ○審査員 (学校外の専門家17名)

- ・高度熟練技能者(2名) 吉野プラスチック、徳脇工業
- ・大学教授等(5名) 大分大学(2)、日本文理大学、大分工業高等専門学校
- ・行政関係者(4名) 県立工科短大(2)、高等技術専門学校(2)
- ・産業界技術者(6名) 大分県電気工業工業組合(2)、住友化学分析センター  
藤丸建設、県薬剤師会、東芝セミコンダクター&ストレージ社



## ○大分県大会結果

部門	最優秀賞			優秀賞			優良賞		
	学校名	学科名	学年	学校名	学科名	学年	学校名	学科名	学年
旋盤作業	日田林工	機械	3	中津東	機械	3	鶴崎工業	機械	3
電気工事	日田林工	電気	3	大分工業	電気	3	鶴崎工業	電気	3
電子回路組立	鶴崎工業	電気	3	鶴崎工業	電気	3	大分工業	電子	3
化学分析	大分工業	工業化学	3	中津東	生産システム	2	大分工業	工業化学	3
測量	佐伯鶴岡・新佐伯豊南	システム工業	3	日田林工	建築土木	2	大分工業	土木	2
木材加工	鶴崎工業	建築	3	鶴崎工業	建築	3	大分工業	建築	3

※各部門の最優秀の生徒は、7月11、12日に開催される九州大会(宮崎県)に出場